

地図講演会

「江戸幕府の国絵図事業と国絵図の編集」

地図フォーラム

「知ってびっくり岐阜弁ワールド」

岐阜県図書館では、地図について関心と理解を深めていただくことを目的として、地図フォーラムと地図講演会を開催しています。

【地図講演会】

7月13日(日)に、東亜大学教授の川村博忠先生を講師にお招きし、「江戸幕府の国絵図事業と国絵図の編集」と題し開催しました。

川村先生は江戸時代の国絵図に関する研究では、日本の第一人者であり、近年の国絵図への関心の高まりの一助を担っておられます。

今回の講演で先生は、江戸幕府にとって、全国を治めるために、基本図としての「国絵図」と土地台帳としての「郷帳」をセットにして作成させていることが重要であり、中でも正保年間に全国一斉に行った事業が、縮尺や地図記号の統一がなされ注目されることなどを、スライドを交えわかりやすくお話されました。

【地図フォーラム】

11月30日に岐阜県方言研究会会長の加藤 毅さんと、岐阜女子大学教授の神田卓朗さんを講師にお招きして、開催しました。

加藤さんは、長年かけて岐阜県内を調べ歩いた成果を方言地図にまとめていらっしゃいます。「とうもろこし」という言葉一つでも県内には15種類の言い方があること、その分布の様子、他県とのつながりなど、言葉が地図になるおもしろさをお話下さいました。

神田さんは、岐阜県のアクセントを3つに分類し、それぞれの違いを具体例を挙げながらお話下さいました。また、美濃地方に残る、方言による伝統芸能「にわか」の楽しさを、映像を交えてご紹介下さいました。

いずれも多数の方々のご参加があり、発表や講演を熱心に聞いていただき、また質疑応答なども活発におこなわれました。

来年度も地図講演会を実施する予定です。詳細につきましては、インターネットホームページなどでお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。



川村博忠先生（地図講演会）



神田卓朗先生（地図フォーラム）



加藤毅先生（地図フォーラム）